

三重県の食に関する取組について

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
農産物安全・流通課	2018年11月05日から 2018年11月19日まで	1145	768	67%

今回は、健康づくり課、農産物安全・流通課からのお願いです。

はじめに健康づくり課からお聞きします。

県では、第3次三重県食育推進計画に基づき、地域において食に関わるさまざまな主体が連携しながら、食育推進に向けた各種取組を行っています。

皆さんの日々の食習慣と健康に関する意識を把握し、今後の取組に役立てるため、アンケートを実施します。(Q1～Q6までの6問です。)

次に、農産物安全・流通課からお聞きします。

県では、「三重県食の安全・安心の確保に関する条例」に基づき、県民の皆さんに安全で安心な食品が届けられるよう、生産者や食品関連事業者等への立入検査、監視指導を行うほか、食品関連事業者が主体的に食の安全・安心に取り組めるような環境整備や取組の支援、県民の皆さんが食の安全・安心に関する知識や理解を得られるような情報や学習機会の提供などを行っています。

今後、これらの事業に役立てるために、アンケートを実施します。(Q7～Q13までの7問です。)

(参考) 食の安全・安心ひろば <http://www.pref.mie.lg.jp/shokua/hp/>

ご協力、よろしくお聞きします。

■ Q1 健康を意識した食生活の実践について

はじめに、健康づくり課からお聞きします。

あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	768	
いつも気をつけて実践している	109	14.2%
気をつけて実践している	408	53.1%
あまり気をつけて実践していない	225	29.3%
全く気をつけて実践していない	26	3.4%

■ Q2 バランスよく食べることについて

あなたは、主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）、副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	768	
ほとんど毎日	321	41.8%
週に4～5日	206	26.8%
週に2～3日	167	21.7%
ほとんどない	74	9.6%

■ Q3 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聞きします。

あなたが家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※家族数は問いません。

※朝食及び夕食の合計でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

合計	741	
ほとんど毎日	417	56.3%
週に8～10回程度	97	13.1%
週に5～7回程度	71	9.6%
週に3～4回程度	61	8.2%
週に1～2回程度	59	8.0%
ほとんどない	36	4.9%

■ Q4 栄養成分表示について

栄養成分表示が平成27年4月から義務化（経過措置期間は平成32年3月31日まで）となりましたが、あなたは、ふだん食品を購入する時に、栄養成分の表示を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※栄養成分表示とは、食品などに含まれるエネルギーやたんぱく質、脂質、炭水化物、塩分などの栄養成分量を、パッケージやメニューなどに表示したものを、

合計	768	
いつもしている	96	12.5%
時々している	315	41.0%
あまりしない	258	33.6%
いつもしない	99	12.9%

■ Q5 野菜摂取の状況について

国の「健康日本21（第2次）」※では、1日当たりの野菜摂取の目標量は350g以上※ですが、あなたはふだんの食事で野菜の摂取量は足りていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※「健康日本21（第2次）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21.html

※野菜350gのめやす

- ・生の野菜だと両手に山盛り1杯
- ・調理した野菜では、小鉢1皿を約70gとして5皿分程度

合計	768	
足りている	47	6.1%
だいたい足りている	263	34.2%
あまり足りていない	302	39.3%
ほとんど足りていない	67	8.7%
足りていない	66	8.6%
わからない	23	3.0%

■ Q6 野菜不足の要因について

あなたにとって、ふだんの食事で野菜の摂取が足りなくなる理由として考えられることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	768	
調理に手間がかかるから	237	30.9%
調理法が分からないから	70	9.1%
価格が高いから	399	52.0%
野菜が嫌いだから	61	7.9%
作っても食べきれないから	130	16.9%
外食が多いから	104	13.5%
野菜以外で栄養を摂ればよいから	34	4.4%
その他	68	8.9%

■ Q7 食品の安全性について

ここからは、農産物安全・流通課からお聞きします。

あなたは、食品の安全性について、ふだん不安を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	768	
不安は感じていない	60	7.8%
どちらかといえば不安は感じていない	302	39.3%
どちらかといえば不安を感じている	319	41.5%
不安を感じている	78	10.2%
わからない	9	1.2%

■ Q8 不安を感じる理由について

Q7で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」とお答えいただいた方にお聞きします。

あなたは、食品の安全性について、どのような不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	397	
農薬や動物用医薬品（抗生物質など）の残留	262	66.0%
食品添加物の使用	288	72.5%
放射性物質の含有	123	31.0%
輸入食品の安全性	321	80.9%
表示の偽装（消費期限、原産地など）	191	48.1%
遺伝子組み換え作物の使用	164	41.3%
食中毒	84	21.2%
アレルギー物質の含有	47	11.8%

その他	7	1.8%
-----	---	------

■ Q9 食の安全に関する意識について

あなたは、食の安全についてふだんどの程度意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	768	
買い物や食事の時など日常的に意識している	276	35.9%
日常的には意識していないが時々意識する	354	46.1%
食の安全に関する問題が起こったときには意識する	97	12.6%
ほとんど意識しない	38	4.9%
わからない	3	0.4%

■ Q10 食の安全・安心のために行政（国、県、市町）に期待する取組について

あなたが食品の安全・安心を得るために、行政に期待する取組はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	768	
食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する	506	65.9%
残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する	511	66.5%
食品表示の適正化を推進する	379	49.3%
生産者、事業者が食の安全・安心の確保に自主的に取り組めるしくみ（みえの安心食材表示制度など）を推進する	307	40.0%
トレーサビリティ制度（生産流通の履歴を追跡できるしくみ）を推進する	266	34.6%
食の安全・安心に関する情報収集と適正な情報をわかりやすく提供する	288	37.5%
講座、研修会など食の安全・安心に関する教育を推進する	80	10.4%
消費者、事業者などによる相互理解のための交流を推進する	65	8.5%
消費者や事業者の疑問等に対応できる相談体制を充実する	106	13.8%
その他	21	2.7%
期待する取組はない	14	1.8%
わからない	15	2.0%

■ Q11 食の安全・安心確保のための行政（国、県、市町）の取組について

あなたは、食の安全・安心確保のために、現在行政が取り組んでいる具体的な取組をどの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※具体的な取組内容は、Q10の選択肢を参考にしてください。

合計	768	
取組の内容を知っている	16	2.1%
取り組んでいることは知っている	357	46.5%
知らない	395	51.4%

■ Q12 食の安全・安心に関する情報を得る手段について

あなたは、食の安全・安心に関する情報を知りたいと思った時、テレビ、ラジオ、新聞以外では、どのような方法で情報を得ようと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	768	
雑誌（一般の週刊誌や月刊誌、専門雑誌など）、フリーペーパー	176	22.9%
インターネット（ホームページ、メールマガジンなど）	576	75.0%
行政機関が発行する広報誌、パンフレットなど	273	35.5%
スーパーマーケット等にあるチラシ、パンフレット	274	35.7%
講演会、シンポジウムなど	35	4.6%
説明会、学習講座、行政主催の出前トーク、意見交換会など	18	2.3%
生協、消費者団体からの会員向け情報	74	9.6%
行政機関や事業者への電話での問い合わせ	17	2.2%
その他	3	0.4%
テレビ、ラジオ、新聞以外から情報を得ようとは思わない	28	3.6%

■ Q13 食の安全・安心出張講座について

農産物安全・流通課では、食の安全・安心に興味のある県民の皆さんが概ね10人以上集まる勉強会・研修会等にご利用いただけるよう「『食の安全・安心』出張講座」※を実施しています。

あなたは、「『食の安全・安心』出張講座」がどのような内容であれば利用したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※「『食の安全・安心』出張講座」

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/m0110400017.htm>

また、概ね20人以上の参加規模を有する集会を対象とした「みえ出前トーク」でも、食の安全・安心に関するテーマを設けていますので、こちらも参考にしてください。

「みえ出前トーク」 <http://www.pref.mie.lg.jp/KOHO/HP/26446022593.htm>

合計	768	
----	-----	--

食の安全・安心に関する県の取組について	199	25.9%
食品表示のルールについて	262	34.1%
食中毒の予防方法について	204	26.6%
健康づくりについて	254	33.1%
食育に関する県の取組について	128	16.7%
農薬・添加物の安全性について	319	41.5%
輸入食品の安全性について	327	42.6%
その他	11	1.4%
利用したいと思わない	159	20.7%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture